

## 作業療法学科の学修状況について

今年度前期は、理学療法学科作業療法学科合同授業(学生数約 130 名)の授業については、オンデマンド授業ですが、作業療法学科の専任教員が担当する専門科目の多くは対面授業で行われました。

### 1 年生

今年度の 1 年生は対面科目のためにキャンパスに定期的に登校していたので、コロナ禍以前と同様に、早い時期に友人ができ楽しそうにする姿が見られました。実際に入学し授業が始まると、大学の授業の大変さや医療従事者となることの責任の大きさを痛感しているようでした。後期の最初の 4 週間はライブ授業とオンデマンド授業に一時的に切り替えておりましたが、ライブ授業ではカメラをオンにしてグループディスカッションを行うなど、オンライン授業であっても活発なディスカッションを大々している様子が印象的でした。

### 2 年生

2 年生の前期は、臨床医学の科目数が多く、しっかりと学ぶことが求められる時期です。臨床医学の科目はオンデマンド授業が中心でしたので、学生は何回も繰り返し授業動画を視聴する、動画を一時停止してノートをとるなど、オンライン授業のメリットを活かした学習方法を取ることができると、学生からは肯定的な意見が聞かれています。後期になると、年度末にある臨床基礎実習 I の準備が始まり、いよいよ医療従事者としてふさわしい立ち振る舞いが求められるようになります。学生は緊張しながらもオリエンテーションに参加している様子が印象的でした。

### 3 年生

3 年生前期は、9 月から 4 週間行われた臨床基礎実習 II に向けて、学習を積み重ねてきていました。3 年生になると、ほとんどが専門科目であり、対象者の観察、評価、治療プログラム立案の演習をたくさん行って行っていました。グループワークの授業も多く、他者の意見を聞き、自分の意見も相手が理解できるように伝える等、コミュニケーションスキルを高める機会となっています。後期授業では、さらに高度な専門的な学習を進め、臨床基礎実習 II で学んだ内容を反芻し、自分の知識・技術・対人援助技能を高めながら4年次4月からの総合臨床実習の準備を行って行きます。

### 4 年生

4 年生は、前期の総合臨床実習 I (8週間)、総合臨床実習 II (8週間)とセミナーが無事終わりました。昨年度は、コロナ禍のために臨床場面での実習が行えませんでした。今年度は4年生全員が実習施設での実習を行うことができました。臨床場面での学びは、学内での学びでは得られない貴重な体験となります。学生にとって充実した学びとなったと思います。後期は、卒業研究と国家試験対策の毎日となります。すでに2月末の国家試験合格に向けての準備を開始しています。全員合格を目指して、学生も教員も一緒に頑張っていきたいと思います。